取扱説明書

Stereo Dipole System V5.1
P2DPシリーズ

ゲーム、オーディオエンターテインメント用3次元音響再生スピーカシステム

!!安全で快適にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。まずはじめに、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を説明しています。絵表示の意味をよく理解した上でＰ３以降をお読みください。

This Product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service form the use of this product abroad.

はじめに、必ずこの取扱説明書をお読みください。
本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

■警告及び注意表示

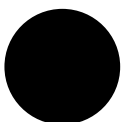
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

62423-03

警告

厳守

本製品を使用する場合は、本製品と組み合わせて使用する機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。

火災・感電・動作不良の原因となります。
修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品又は指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、電源プラグをACコンセントから外してから行ってください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

厳守

本製品にACアダプタが添付されている場合は以下のことにご注意ください。

- 必ず添付のACアダプタを使用してください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線又は短絡して、火災及び感電の原因となることがあります。
- 電源コードのプラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因になります。

厳守

保護者の皆様へ
下記の点にご注意下さい。特に小さなお子様がご使用になる場合は保護者の方が同伴でお取り扱い下さい。

- 添付のビニール袋等をかぶらない様ご注意下さい。
- 小さな部品があります。口の中には入れないで下さい。
- 小さな部品は誤飲の危険があります。小さなお子様には絶対に与えないで下さい。

注意

禁止

本製品は以下のような場所で使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- 振動や衝撃が加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱を発生するものの近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波が発生するものの近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所や浴室など）
- 傾いた場所
- 製品に通風孔がある場合は、その通風孔がふさがる場所

禁止

本製品を保管する場合はご購入時の箱に入れてください。
また、以下のような場所で保管しないでください。

故障の原因になることがあります。

- 振動や衝撃が加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱を発生するものの近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波が発生するものの近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所や浴室など）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
故障の原因となる場合があります。

- 落としたり、衝撃を加えない（特に電源がONになっているときは絶対に振動や衝撃を加えない）
- 製品の上に水などの液体や、クリップなど小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- そばで飲食・喫煙などをしない

注意

本製品は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。

注意

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用又はこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

取扱説明書に書かれている注意事項も必ずお守りください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

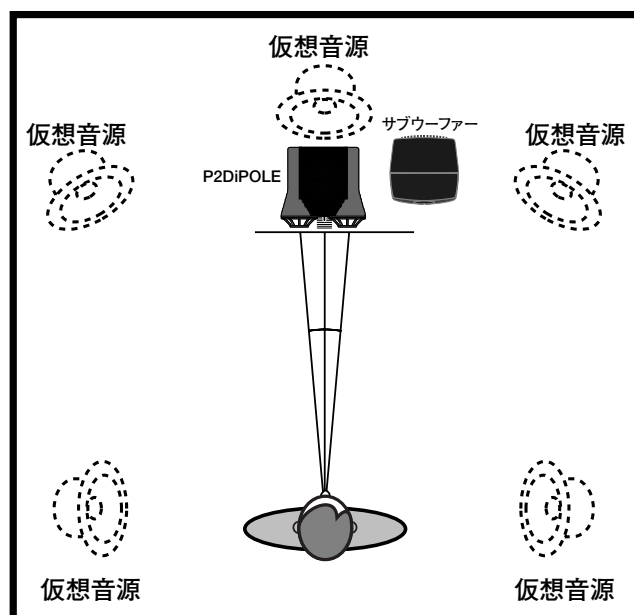
VCI

●もくじ

本書では「P2DPシリーズ」を「P2DiPOLE」と表記しています。

●P2DiPOLEの特徴

●ステレオダイポール技術による2スピーカ5チャンネル全仮想音源サラウンド再生

ステレオダイポール技術は近接した2つのスピーカで高音質3Dサウンドを実現する画期的な再生方式です。P2DiPOLEはステレオダイポール技術の特徴を最大限に活用したマルチチャンネル新仮想音源創成技術(DiMAGIC VX)を導入し、世界ではじめて2スピーカでDVDでの5.1チャンネル再生(ドルビー・デジタル5.1ch)をすべて仮想音源のみで実現しております。P2DiPOLEのみで迫力のあるマルチチャンネルシネマサウンドをお楽しみいただけます。また、サブウーファーを併用されることで、迫力のある重低音が3Dサウンドの魅力をさらに加速します。

●新しいゲームサウンドの世界を開く、画期的3Dゲームサウンド再生方式

P2DiPOLEは、光接続(SPDIF)によるデジタル入力と、標準アナログ2CH入力を同時接続して、3Dサウンドを創成する画期的なインターフェースを備えています。入力されたマルチチャンネルの信号は、高性能DSP(デジタルシグナルプロセッサ、100MIPS)によってステレオダイポール方式の仮想音源処理が行われますので、インタラクティブな3Dサウンドなど、今までに経験したことのない新しいゲームサウンドを提供いたします。また、SD出力を備えておりますので、対戦ゲームをお友達と同時に楽しむ際に、対戦者がそれぞれ3Dサウンドを楽しむことができます。

●CD、MD、MP3を広がりのあるサウンドステージで楽しむ

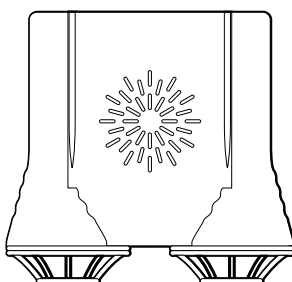
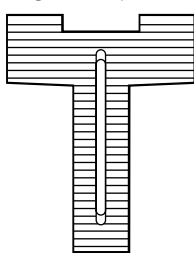
P2DiPOLEはCDなど従来の2チャンネル入力も明確な音像定位と広いサウンドステージで楽しむことができます。入力はアナログ、デジタルの両方が用意されています。注意深く選ばれた複数のサウンドステージのなかから、入力や目的にあった音響効果をボタン一つで選択できます。また、ダミーヘッドマイクロホンなどによって録音されたバイノーラルサウンドも驚異的な立体音場として楽しむことができます。さらに、P2DiPOLEのために専用に開発された高磁束密度マグネット採用の高級スピーカと、T級超小型アンプ採用による標準10Wの高出力内蔵ステレオアンプを搭載し、高音質サウンドを実現しています。

●スタンドとP2DiPOLE本体の準備

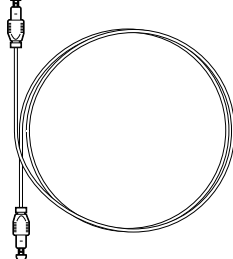
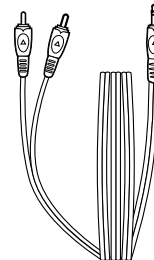
保護者の方へ
小さなお子様がストッパー球を誤飲したり、ビニール袋をかぶったりしない様ご注意下さい。

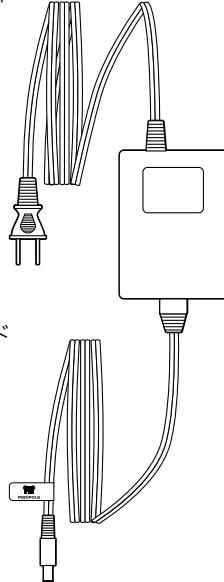
同梱物リスト

P2DiPOLEの箱を開けましたら同梱品の確認をしてください。

※但し、プレミアムセットをお買い上げのお客様は右記載の他にも専用サブウーファーと付属品が同梱されています。（P10参照）

●（角度調節用）ストッパー球

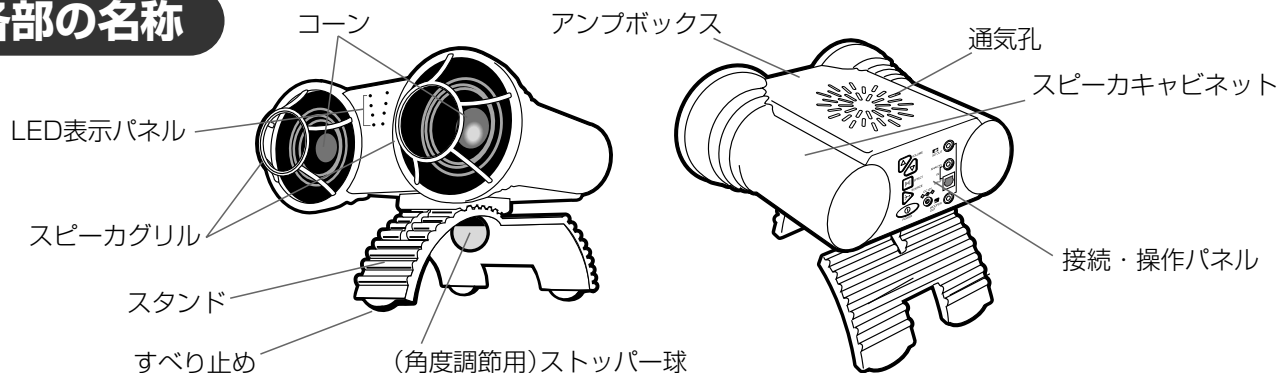
●中継アダプタ

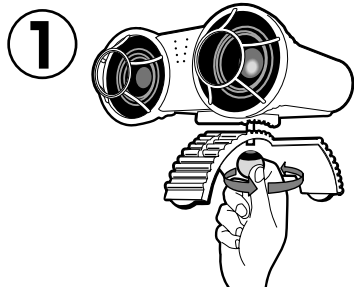
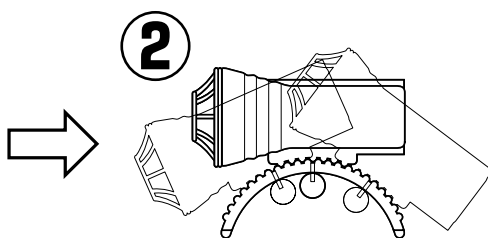
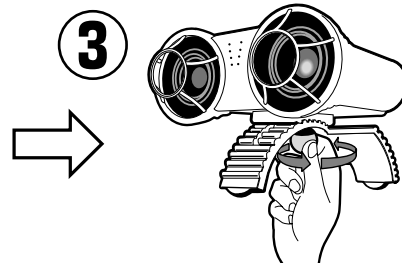
●光ケーブル

●ステレオミニプラグ付きコード

●P2DiPOLE専用ACアダプタ

●P2DiPOLE本体

●スタンド

●取扱説明書（本書）

●保証書　●ユーザー登録カード

各部の名称

スタンドとアンプボックスを組み立てる際、固い床のある場所はできるだけ避けて下さい。本体を落とすと壊れる恐れがあります。
スピーカグリルおよびコーン部分にはできるだけさわらないでください。変形や破損の恐れがあります。

①スタンドとアンプボックスをストッパー球で軽く止めます。

②置く場所に合わせて角度を調整します。スピーカから聴く人までの距離は50ｃｍから1.5mです。

③スピーカの角度が決まりましたらストッパー球でスタンドとアンプボックスが動かないように止めます。

●接続のしかた

接続は簡単ですが、お手元の再生装置や目的に応じて、つぎの手順に従って正しく接続してください。

①入力ケーブルを接続

P2DiPOLE は光インターフェースによるデジタル入力と通常のステレオアナログ入力の両方が使えます。まず、右の接続例を参考に、お手元の再生装置からP2DiPOLE本体へ入力ケーブルを接続します。ケーブルは、付属のステレオミニプラグ付きコード、光ケーブル、また、必要に応じて中継アダプタを使って接続します（4ページ参照）。再生装置の出力コネクタによっては、他の接続ケーブルを用意する必要があります。再生装置の出力の詳細についてはそれぞれの取扱説明書でご確認ください。

②電源を接続

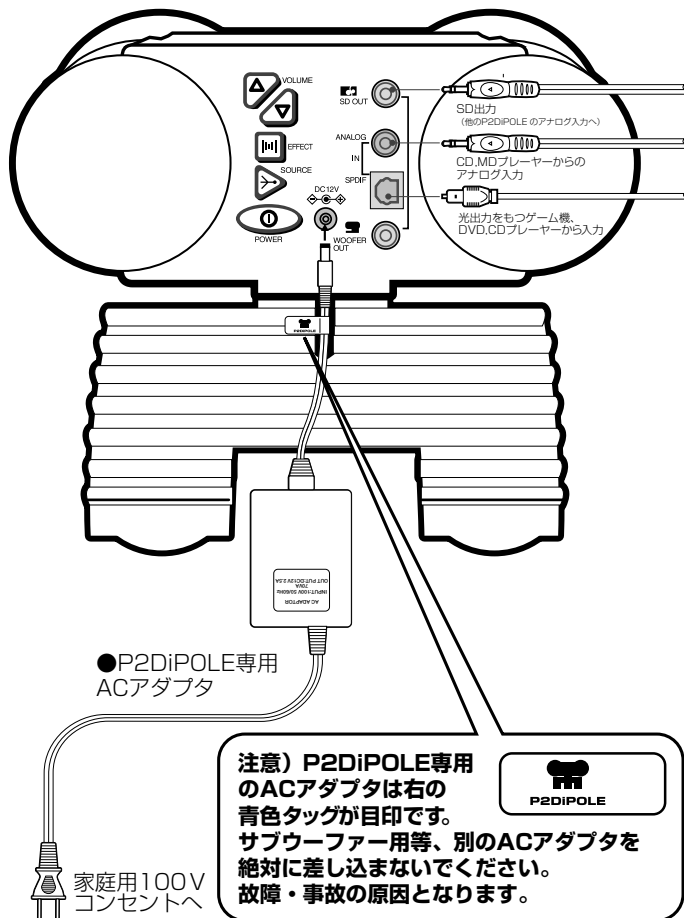
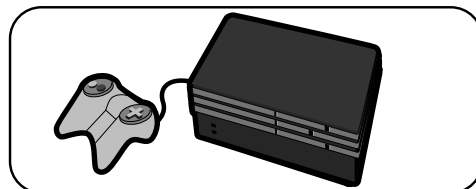
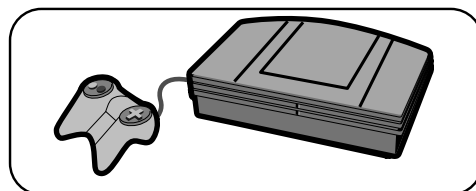
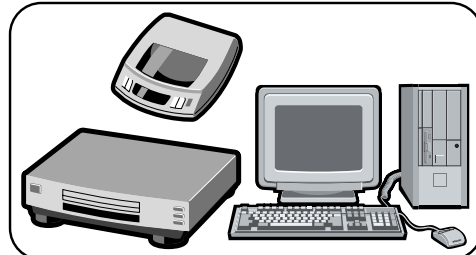
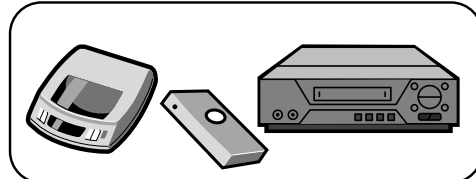
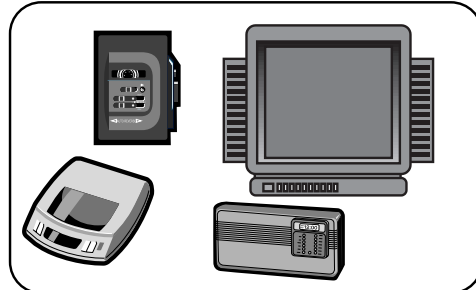
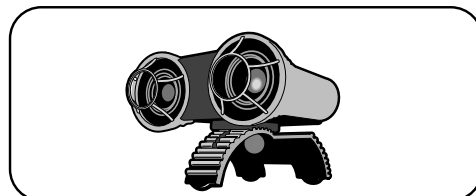
つぎに、AC アダプタを使って電源を接続します。
入力ケーブルが正しく接続されていることを確認し、電源スイッチを入れます。

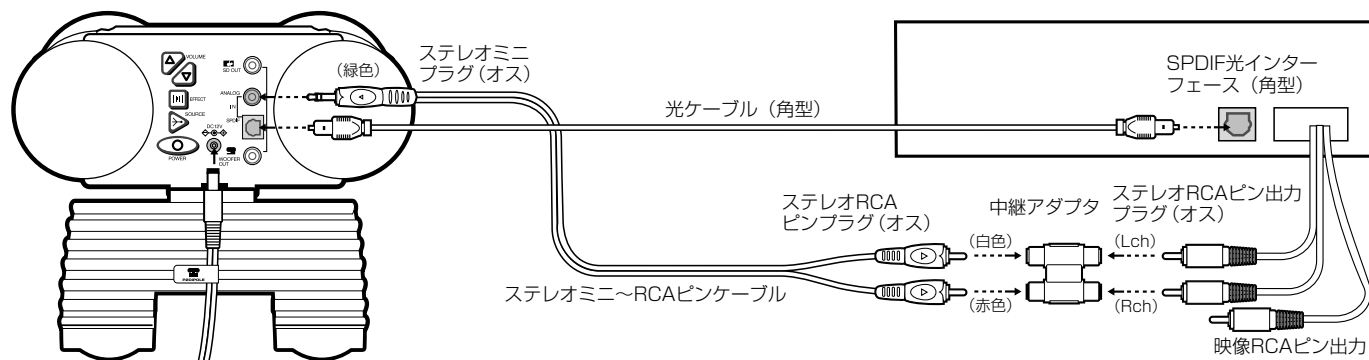
POWER

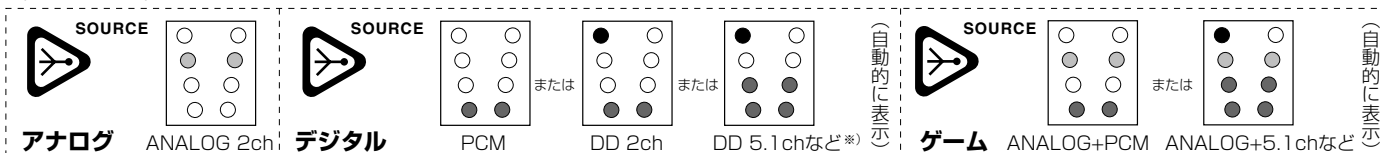
③入力を選ぶ

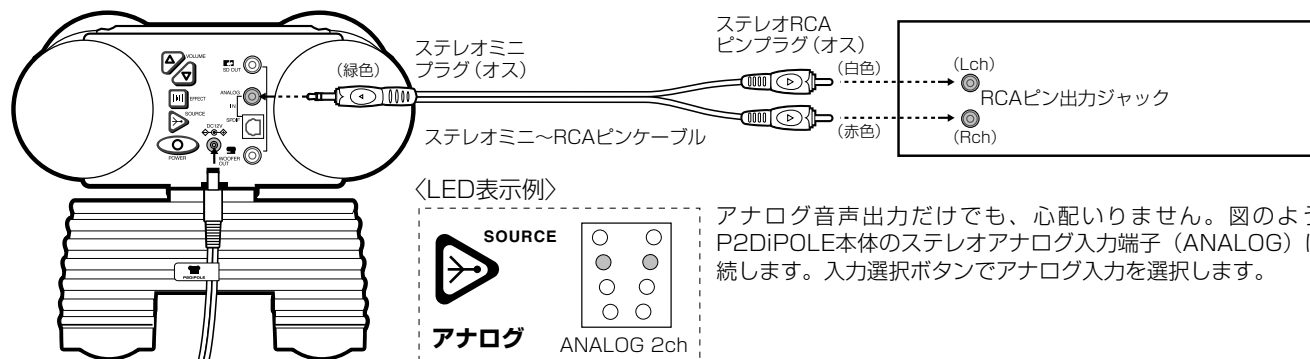
（8ページの接続・操作パネル図を参照）

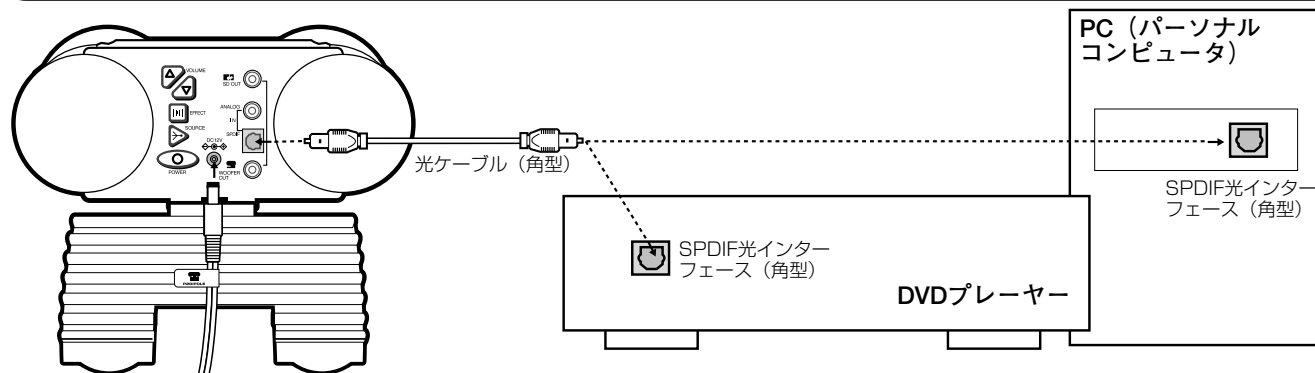
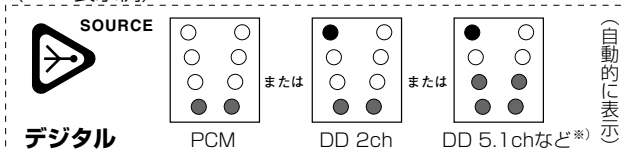
SOURCE

あとは、入力選択ボタンで入力を選ぶだけで、音を聞くことができます。（電源を入れた直後はアナログ入力が選択されています。）入力選択ボタンの操作は9ページの「入力選択ボタン」をご参照ください。では、すばらしい3Dサウンドを心ゆくまでお楽しみください。

接続例（その1）光インターフェースをもつゲーム機と接続 → P6

接続例（その2）アナログ音声出力をもつゲーム機と接続 → P6

接続例（その3） ドルビーデジタル5.1chまたは2ch再生機（DVD・ゲーム・PC）と接続 → P6

接続例（その4） PCMデジタル出力（ステレオ）再生機（CD・MD・DAT）と接続 → P7

接続例（その5）アナログステレオ出力再生機（CD・MD・DAT・TAPE・ラジオ・テレビ）と接続 → P7

接続例（その6） もう一台のP2DiPOLEと接続 → P7

●接続のしかた

接続例（その1）　光インターフェースをもつゲーム機

光インターフェース入力端子（DIGITAL）とステレオアナログ入力端子（ANALOG）の両方に接続します。これで、P2DiPOLE の入力選択ボタンを使って、簡単に入力が選択できます。たとえば、ＤＶＤなどを楽しむときはデジタル入力を、また、通常のゲームを楽しむときはアナログ入力に切り替えます。また、この接続の最大の利点は、光インターフェースとアナログ入力を同時に使ったゲームに対応することができることです。これを楽しむときは、入力選択ボタンでゲーム入力に設定します。すばらしい3Dサウンド効果をもったタイトルが予定されています。ご期待ください。

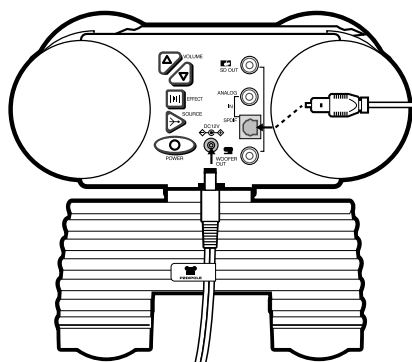
〈LED表示例〉

＊）PCM はＣＤなどで使われているデジタル信号のことで、DD はDVD などで使われているドルビーデジタル信号のことです。PCM,DDについては巻末の用語集をご覧ください

接続例（その2）　アナログ音声出力をもつゲーム機

アナログ音声出力だけでも、心配いりません。図のようにP2DiPOLE本体のステレオアナログ入力端子（ANALOG）に接続します。入力選択ボタンでアナログ入力を選択します。

接続例（その3）　ドルビーデジタル5.1chまたは2ch再生機（DVD・ゲーム・PC）

〈LED表示例〉

光インターフェースをもった、DVDプレーヤー、ＰＣ（パーソナルコンピュータ）、ゲーム機などで、主にＤＶＤムービーを楽しみたいという場合は、光ケーブルでの接続が便利です。光インターフェース入力端子（DIGITAL）に接続し、入力選択ボタンでデジタルに設定します。これだけで、2ch 再生から、ドルビーデジタル5.1ch 再生などのマルチチャンネルまで、いろいろなコンテンツがお楽しみいただけます。また、入力選択をデジタルにすると、あとはP2DiPOLE が自動的に信号の種類などを判別してくれます。

＊）PCM はＣＤなどで使われているデジタル信号のことで、DD はDVD などで使われているドルビーデジタル信号のことです。PCM,DDについては巻末の用語集をご覧ください

●接続のしかた

接続例（その4）　PCMデジタル出力（ステレオ）再生機 （CD・MD・DAT）

SPDIF光インター
フェース（角型）

光ケーブル（角型）

光インターフェースをもった、CD、MD、DAT、DVD プレーヤーなどで、主に音楽コンテンツを楽しみたいという場合にも、光ケーブルでの接続が便利です。光インターフェース入力端子（DIGITAL）に接続し、入力選択ボタンでデジタルに設定します。また、P2DiPOLEでは、通常のＣＤなどのステレオ録音のコンテンツだけでなく、バイノーラル録音コンテンツやステレオダイポール（SD）方式による録音コンテンツも再生することができます（詳しくは巻末の用語解説をご参照ください）。

バイノーラル録音、ステレオダイポール（SD）方式による録音コンテンツを再生する場合には、音響効果選択ボタン（EFFECT）で下図のようなそれぞれの設定（ディメンション、バイパス）をする必要があります。

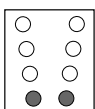
（**注意1**）ディメンション、バイパスの音響効果設定で通常のステレオ録音のコンテンツを聴くことはできません。この場合、予期しない音が再生されP2DiPOLEにダメージを与えることがありますので、正しく設定してお楽しみください。

〈LED表示例〉

SOURCE

デジタル

PCM

〈**注意1**〉

EFFECT

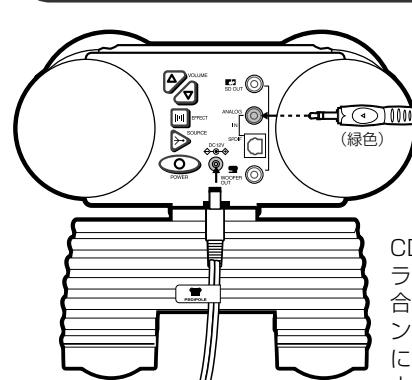
バイノーラル
レコーディング
ＣD(2ch)

ディメンション

EFFECT

バイパス

ステレオダイポール
エンコーディング
ＣD(2ch)

接続例（その5）アナログステレオ出力再生機（CD・MD・DAT・TAPE・ラジオ・テレビ）

ステレオミニ
プラグ（オス）

ステレオRCA
ピンプラグ（オス）

（白色）

（緑色）

（赤色）

ステレオミニ〜RCAピンケーブル

（Lch）RCAピン出力
（Rch）ジャック（メス）

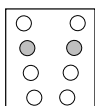
RCAピン出力ジャック（メス）
（Lch）（Rch）

CD、MD、MP3 プレーヤー、DAT、テレビ、ラジオなどで、アナログステレオ出力しかない場合でも、音楽コンテンツなどを広がりのあるサウンドステージでお楽しみいただけます。この場合には、図のようにP2DiPOLE本体のステレオアナログ入力端子（ANALOG）に接続します。また、P2DiPOLEでは、通常のＣＤなど、ステレオ録音のコンテンツだけでなく、バイノーラル録音コンテンツやステレオダイポール（SD）方式による録音コンテンツも再生することができます（詳しくは巻末の用語解説をご参照ください）。バイノーラル録音、ステレオダイポール（SD）方式による録音を再生する場合には、音響効果選択ボタン（EFFECT）で下記のような設定（ディメンション、バイパス）をする必要があります。

（**注意2**）ディメンション、バイパスの音響効果設定で通常のステレオ録音のコンテンツを聴くことはできません。この場合、予期しない音が再生されP2DiPOLEにダメージを与えることがありますので、正しく設定してお楽しみください。

〈LED表示例〉

SOURCE

アナログ

ANALOG 2ch

〈**注意2**〉

EFFECT

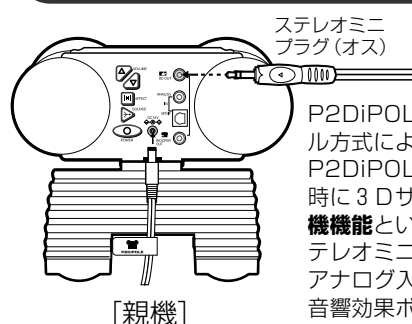
バイノーラル
レコーディング
ＣD(2ch)

ディメンション

EFFECT

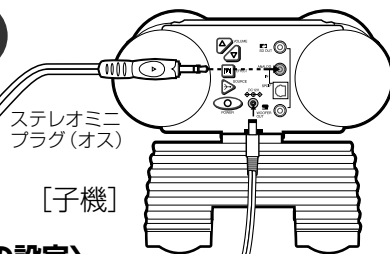
ステレオダイポール
エンコーディング
ＣD(2ch)

バイパス

接続例（その6）　もう一台のP2DiPOLEとつなぐ

ステレオミニ
プラグ（オス）

ステレオミニ〜ステレオミニケーブル
注）同梱されていませんので電器店等でご購入ください。

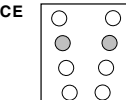
ステレオミニ
プラグ（オス）

［子機］

［親機］

P2DiPOLE本体には、ＳＤ出力（ステレオダイポール方式による出力）を備えていますので、もう一台のP2DiPOLEをつないで、対戦ゲームをお友だちと同時に３Ｄサウンドで楽しむことができます。これを**子機機能**といいます。接続は簡単です。図のように、ステレオミニプラグで親機側のＳＤ出力端子と子機側のアナログ入力端子をつなぎます。（**注意3**）子機側の音響効果ボタンの設定は、必ず“バイパス”でご使用ください。音響効果ボタンの詳細については、９ページの「より効果的な使い方のために」をご参照ください。

〈子機側の設定〉

SOURCE

アナログ

ANALOG 2ch

〈**注意3**〉

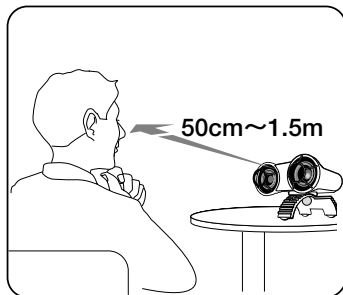
EFFECT

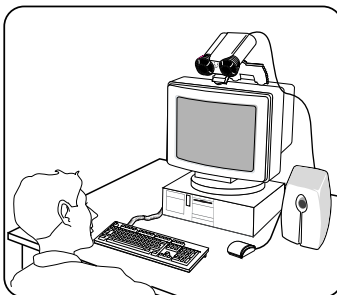
バイパス

●置く場所と 接続・操作パネル図と電源

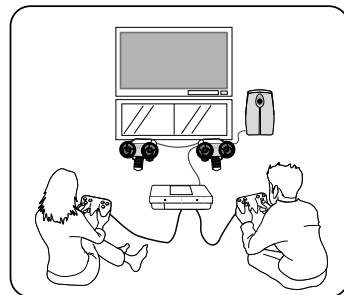
**小さいボディですからどこにでも簡単に置くことができます。
正しい置き方で、3次元音響再生をお楽しみください。**

テーブルやデスクの上

●置く場所に合わせて角度を調整します。スピーカから聴く人までの最適な距離は50cmから1.5mです。

パソコンモニターの上

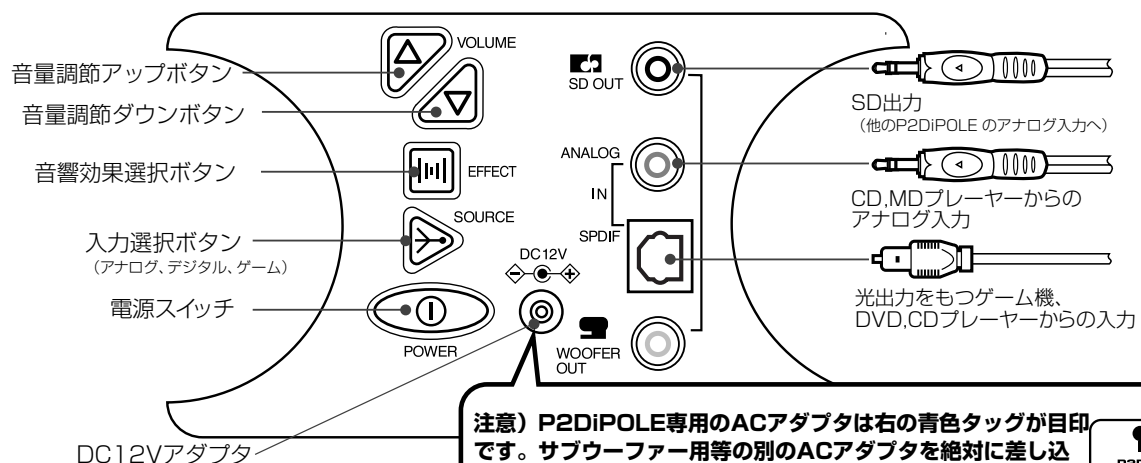
●パソコンモニターなどの上に置くときにはP2DiPOLEがしっかり安定するだけの広さがある場合に限り置いてください。

注）この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。その場合はただちにラジオ、テレビから装置を離してください。

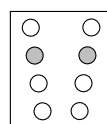
床の上

●もう一台のP2DiPOLEを子機として使うと複数のプレーヤーで対戦ゲームを行う場合でもお楽しみいただけます。

**使い方は簡単ですが、より一層効果的なP2DiPOLEの
3D音響再生をお楽しみいただけるよう操作説明を
良くお読みください。**

あなたにとって楽しい音も時と場合によっては、となり近所の人には気になることもあります。特に夜のゲーム音楽鑑賞の際には音量にご配慮ください。

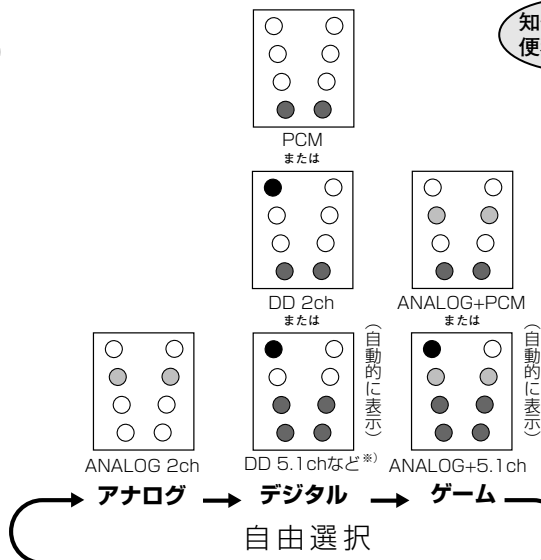
（接続・操作パネル図）

注意）P2DiPOLE専用のACアダプタは右の青色タッグが目印です。サブウーファー用等の別のACアダプタを絶対に差し込まないでください。故障・事故の原因となります。

電源スイッチ

**はじめに、P2DiPOLEが正しく動作するかどうか確認します。
電源スイッチを押すとしばらくして 黄色のＬＥＤが点灯 し、
オープニングサウンドが聞こえます。**

●より効果的な使い方のために

入力選択ボタン

SOURCE
（ソース ボタン）

入力選択ボタンを押して**アナログモード**を選択するか、**デジタルモード**を選択するか、または、**ゲームモード**（デジタルとアナログの両方を使う）で楽しむのかを選択します。入力選択ボタンを押すと、アナログ、デジタル、ゲームとつぎつぎに選択することができます。また、どの入力を選択しているかは、LED 表示パネルで表示されます。

知っておくと便利です！

アナログ入力
（黄色LEDが点灯）

デジタル入力
（緑色LEDが点灯）*

ゲームモード
（黄色と緑色のLED が同時に点灯）**

＊）**デジタル**入力の場合さらに、自動的に次のように表示されます。緑色LEDが２つ点灯：2 ch 入力信号の受信モードであることを表示しています。
緑色LEDが４つ点灯：2ch 以上（5.1 chなど）の入力信号の受信モードであることを表示しています。

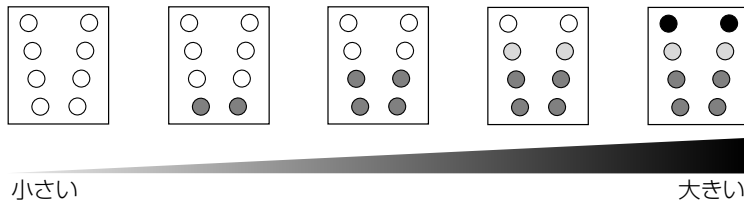
＊＊）**ゲーム**モードではデジタル入力に加えて、アナログ入力も使って３Ｄサウンド処理を致します。
デジタル入力で、赤色LEDが点灯すると、ドルビーデジタル（Dolby Digital：DDと略）の形式であることを表示しています。
DVDなどをお楽しみの際には自動的に処理が行われ、LEDも自動点灯しますので、一般には全く気にする必要はありません。また、信号の状態によっては、各LEDが点滅する場合がありますが、故障ではありません。実際に信号が送られてくると、自動的に点滅から常時点灯に表示がかわります。

覚えてください！

LED表示は通常**「入力選択ボタン」**の現行モードを**優先して表示**しています。その時**「音量調節ボタン」**や**「音響効果選択ボタン」**を**１回押すと現行を表示し、2回目で操作可能**になります。指を離してしばらくすると「入力選択ボタン」の表示に、また戻ります。

音量調節ボタン

VOLUME
（ボリュームボタン）

小さい　　大きい

音量の調整は、**音量調節アップボタン**と**音量調節ダウンボタン**で行います。どちらかのボタンを押すと図のようにLEDパネルに音量レベルが表示されます。また、しばらくすると、LED表示は入力選択の表示に自動的に戻ります。なお、**音量調節アップボタンと音量調節ダウンボタンを同時**に押すと“**ミュート**”状態になり音量が最小なります。このとき、LEDは点滅した状態でこれを知らせます。**再び、音量調節アップボタンと音量調節ダウンボタンを同時**に押すと“**ミュート**”状態は**解除**され、もとの音量に戻ります。

（注意）LED表示はあくまでも音量のめやすとしてお使いください。音量調整ボタンを押すと音量は変化しても表示が変わらない場合がありますが、故障ではありません。また、過大な音量にならないよう、十分注意してお楽しみください。

音響効果選択ボタン

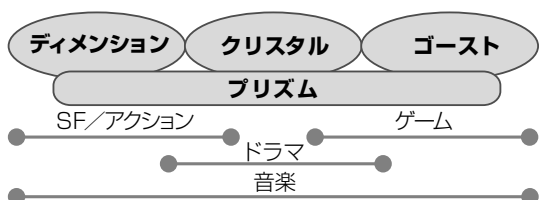
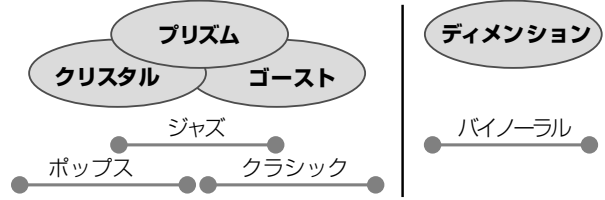
EFFECT
（エフェクトボタン）

プリズム → クリスタル → ゴースト → ディメンション → バイパス
スイッチを入れた時
1　2　3　4

P2DiPOLEでは、３Ｄサウンドの聴感上の印象を選択できる機能があらかじめプリセットされています。　それぞれ、“**プリズム**”“**クリスタル**”“**ゴースト**”“**ディメンション**”“**バイパス**”という**効果を表現する愛称**が付けられています。ほとんどのコンテンツの場合、**電源スイッチを入れたときの設定**（**プリズム**にプリセットされています）でお楽しみいただけますが、コンテンツの音響効果、ミキシングの内容、またお聞きいただく目的などによって、お好みの効果を選択します。選択は、**音響効果選択ボタン**（**EFFECT**）を押すことで行い、上図のLED表示に対応する音響効果が選択されます。それぞれの音響効果は、サウンドステージの広さや音像の定位感などに特徴があります。また、**下図はそれぞれの入力コンテンツの種類**と**それに適した音響効果選択の目安**を示しています。参考にしながら、お好みの効果をお選びください。また、音響効果選択ボタンから手をはなし、しばらくすると、LED表示は（入力選択ボタンで設定した）入力選択表示にもどります。

（注意）マルチチャンネル音声入力時では、“ディメンション”は下図左のようなコンテンツ向けの効果が得られますが、ステレオ2ch入力時ではバイノーラル録音されたコンテンツの再生専用となっています、また“バイパス”はSD方式で録音されたコンテンツを再生するための設定ですので、これらの設定で通常のステレオ録音のコンテンツを聴くことはできません。なお、ゲームモードでは、“バイパス”は“プリズム”と同様の音響効果設定になっています。

マルチチャンネル音声入力時のタイプ別設定例

ディメンション　クリスタル　ゴースト
プリズム
SF／アクション　ゲーム
ドラマ
音楽

ステレオ2ch入力時の設定例

●P2DiPOLEサブウーファーについて

プレミアムセットをお買い求めの方は良くお読みいただき、素晴しい重低音の世界をお楽しみください。

迫力の重低音を
PREMIUM SET
プレミアムセットでお楽しみください

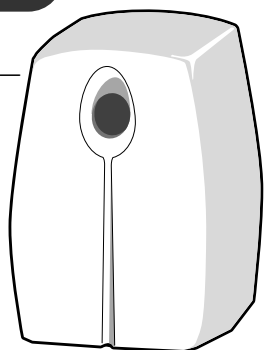
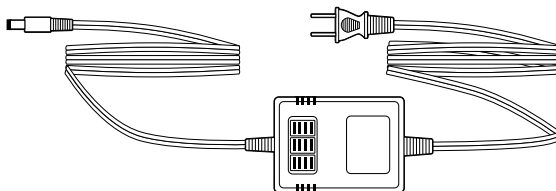
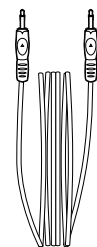
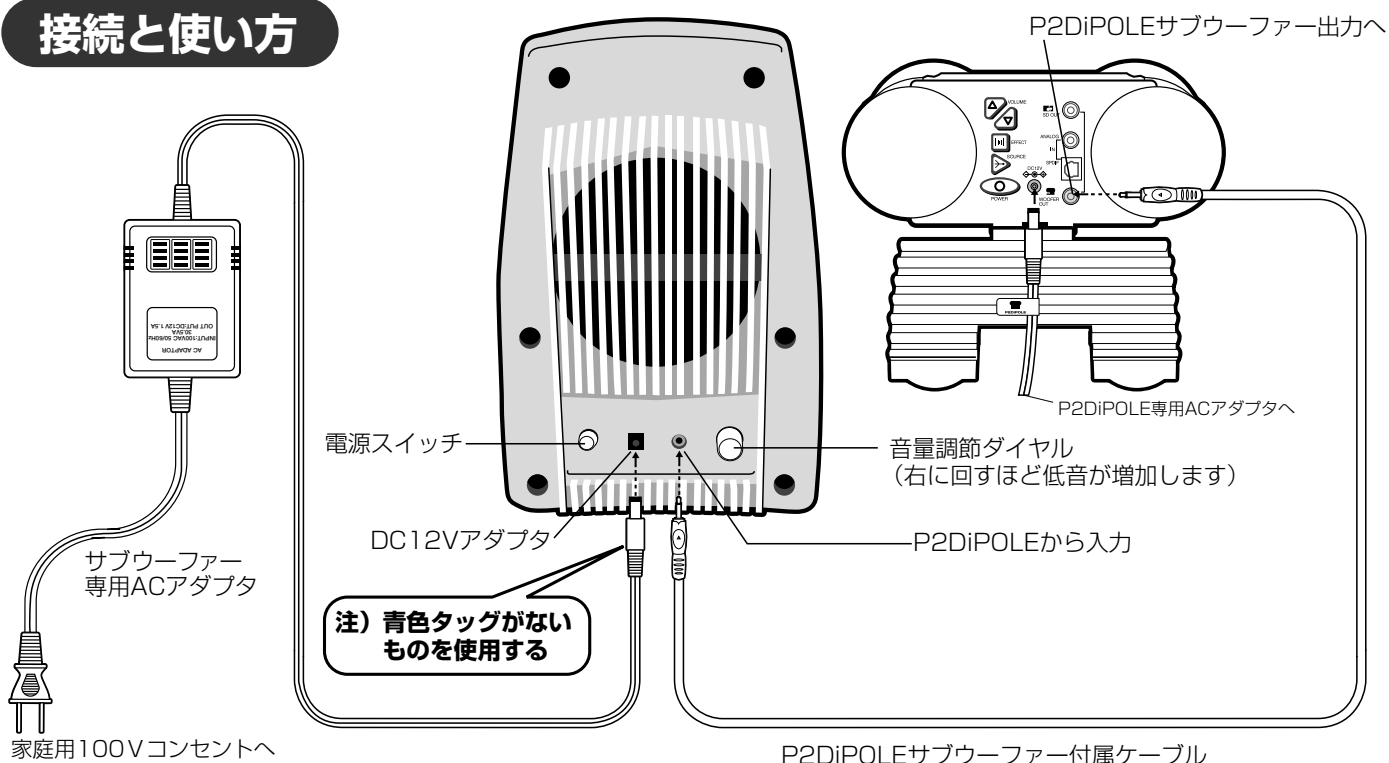
特　徴

●専用サブウーファーでより効果的なP2DiPOLEサウンド

この製品には、P2DiPOLEに接続するだけで簡単に迫力のある重低音が楽しめる、専用サブウーファーが付いています。サブウーファースピーカ端子に接続するだけでP2DiPOLEは自動的にサブウーファーを認識しますので、設定はとても簡単です。サブウーファーを使用した重低音再生は、シネマサウンドだけではなく、ゲーム、音楽再生時においても大変効果的で右のように楽しみが倍増します。

●映画館のような迫力のある5.1チャンネルシネマサウンド
●ゲームの臨場感をさらに加速
●音楽が持つ重低音を再現

同梱物リスト

接続と使い方

P2DiPOLEサブウーファー出力へ
P2DiPOLE専用ACアダプタへ
電源スイッチ
音量調節ダイヤル（右に回すほど低音が増加します）
DC12Vアダプタ
P2DiPOLEから入力
サブウーファー専用ACアダプタ
注）青色タッグがないものを使用する
家庭用100Vコンセントへ
P2DiPOLEサブウーファー付属ケーブル

P2DiPOLEシリーズ（P2DP、P2DP/STD）仕様	
■ハードウェア仕様（共通）	
外形寸法	135mm×184mm×175mm
電源電圧・最大出力	DC12V・10+10(W)
S/N比・全高調波歪率（THD）	80dB（出力1W時）・0.1％（出力5W時）
デジタル入力	光デジタル入力端子（SPDIF）
アナログ入力	ステレオミニ入力端子
サブウーファー出力	サブウーファースピーカ端子
子機出力	ステレオミニ出力端子
対応機種	音声出力端子※を持つ以下の機器 家庭用ゲーム機器、サウンド機能搭載PC、DVDプレイヤー、 LDプレイヤー、CDプレイヤー、MDプレイヤー、MP3プレイヤー ※光デジタル端子接続を行う為には接続機器に光デジタル　インターフェイス出力端子が装備されている必要があります。
添付品	ACアダプター（スピーカ用）、光ケーブル　1m、ステレオミニプラグ付コード　1m、中継アダプター、取扱説明書
動作温度／湿度	0℃～50℃／20%～90%
保管温度／湿度	－20℃～65℃／10%～95%
■サブウーファー仕様（プレミアムセットのみ）※P2DP/STDは対象外	
外形寸法	272mm×190mm×193mm
電源電圧・最大出力	DC12V・12W
S/N比・全高調波歪率（THD）	70dB（出力5W時）・0.1%(出力5W時)
再生周波数帯域	40Hz～125Hz
添付品	ACアダプター（サブウーファー）、3.5mmモノプラグ付コード、
動作温度／湿度	5℃～50℃／20%～90%
保管温度／湿度	－20℃～65℃／10%～95%

用語解説

ドルビーデジタル（Dolby Digital 、本書ではDDと略）

DVDに採用されている音声の記録方式です。特に、ドルビーデジタル5.1ch方式では、フロント3ch、サラウンド2ch、サブウーハー0.1chで計5.1chを用いて、映画館の迫力と臨場感あふれる立体音場を家庭で再現できます。P2DiPOLE は、5chすべてを２つのスピーカのみで仮想音源処理を実現したバーチャルドルビーデジタル(Virtural Dolby Digital)プロダクトとして、世界ではじめて認定されております。

ステレオダイポール（stereo dipole, 本書ではSDと略）

東京電機大学 音響情報研究室とサザンプトン大学（英）ISVR (Institute of Sound and Vibration Research)との共同研究の成果として誕生した、新しい再生方式です。最新のデジタル信号処理技術と近接配置した２つのスピーカを用いることによって、高音質の3D 再生音を実現することができます。また、P2DiPOLEでは、ＳＤ方式による優れた音場再生能力を最大限に引き出すため、あらかじめこの方式で録音処理されたコンテンツもお楽しみ頂けます。

リニアPCM

デジタル信号をまったく圧縮せずに記録しておく方式です。CD-Audio、また、DVDでもこの音声記録方式に対応しています。複数のサンプリングレートと量子化ビット（16、20、24bit）が規定され、高品質な再生が可能です。

バイノーラルサウンド（binaural sound）

本来は両方の耳で聞くことを意味しておりますが、ダミーヘッドマイクロホンと言われる人間の頭、耳、胴体を擬似した特殊なマイクロホンで録音されたコンテンツや、それと同等の信号処理を施した音を意味することが多いようです。バイノーラルサウンドはとてもリアルな音場が再生できますが、残念ながら従来はヘッドホンでしか実用上再生できませんでした。P2DiPOLEではこれらのコンテンツもお楽しみ頂けます。驚くほど臨場感のある3Dサウンドをお楽しみください。

●修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15街区７　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「P2DPシリーズ」修理係　　宛

●サポートセンターへのお問い合わせ先

電話番号　金沢　076-260-3366
　東京　03-3254-0301
FAX番号　金沢　076-260-3360
　東京　03-3254-9055

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/

郵便　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15街区７　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「P2DPシリーズ」係 宛

受付時間　9:30～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

I·O DATA　もっと近くへ── More Communication
株式会社アイ・オー・データ機器

本社営業部：〒920-8513　石川県金沢市桜田町15街区7 アイ・オー・データ第2ビル
I·Oプラザ AKIBA：JR秋葉原駅前 ラジオ会館7F　TEL.03-3258-1010　FAX.03-3258-1065
ホームページ：http://www.iodata.co.jp/